

「環境事業支援政策研究会」開催報告（最終回）

第10回「環境事業支援政策研究会」《以下研究会と略す》

会員生協をはじめとした環境事業支援を行なっていくことを目的に「第1回環境事業支援政策研究会」を2005年9月に設置し、2007年4月まで10回開催された研究会は今回で全日程を終えました。これから報告集作成に入ります。

最終回は座談会形式で行い、まず、はじめに先生方の研究内容を分かりやすくするため、各先生方がそれぞれのテーマについて解説をし、その提言内容について質疑応答を行ない研究会のまとめとしました。

座談会をはじめるとあたり、淡路座長より次のような挨拶がありました。

生協は事業者であると同時に、多くの組合員消費者を有する組織という特性をもった組織である。従ってこれまでやってこられなかったような革新的な次の段階へのステップアップが出来る可能性があるのではないか。一つの系として生産・販売・消費に至る全体をとらえて、それらが地球温暖化問題について、どのような負荷を与えるのかを目に見える形で提言できないか。又、それらが視覚的に可能になれば、消費者自身が自分の行動をコントロールできる。今回は斬新かつ革新的な取り組みだと思う。

提言の主な内容は次のとおりです。

1. 生協事業分野での環境マネジメントシステムと組合員の様々な環境活動について紹介し、多種多様に展開している東京における生協の環境活動として俯瞰できる仕組み。
2. 地球温暖化防止の取り組みとして、生産・流通・包装・供給・廃棄各段階における二酸化炭素排出量を把握するシステムを会員生協をはじめとする事業者提供していく仕組み。又、組合員自身が個々の商品の選び方や購入方法により、環境負荷をいかに低減できるかについての具体的な提案方法。
3. NPO、行政、企業との連携による環境学習の取り組み事例を収集し、組合員をはじめとする市民の環境学習支援の取り組みに生かせるような情報提供。

研究会の提言が 環境問題、とりわけ地球温暖化問題に対する生協の位置や組合員、職員への教育など、これからの生協や行政、NPOなどが取り組む問題に対して具体的な取り組みとして活用されることを願っています。この間、会員生協の環境担当者をはじめ、ご協力を頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。